

2020年10月15日
日本銀行釧路支店

道東地域¹の金融経済概況

【全体感】

道東地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から、厳しい状態にあるが、一部で持ち直しの動きがみられている。

すなわち、公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、弱めの動きとなっている。住宅投資は、振れを伴いつつも基調として減少している。個人消費は、持ち直しつつある。生産は、減少している。労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緩和の動きがみられている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症が管内の経済活動全般に及ぼす影響などを注視していく。

【各 論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、高水準で推移している。

公共工事請負金額は、国土強靱化や国際バルク戦略港湾関連の工事発注から、高水準で推移している。

設備投資は、弱めの動きとなっている。

道東地域の9月短観における2020年度設備投資計画は、前年を上回る計画となった。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響などを背景とする不確実性の高まりから、慎重な投資計画となっている。

住宅投資は、振れを伴いつつも基調として減少している。

新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲いずれも前年を上回った。

個人消費は、持ち直しつつある。

主要小売店売上高は、食料品を中心に前年を上回っている。

耐久消費財をみると、乗用車新車登録台数（含む軽）は、普通・小型乗用車、軽乗用車ともに前年を下回ったが、足もとでは、持ち直しの動きがみられている。家電販売は、特別定額給付金の効果の反動がみられている。

¹ 道東地域とは、当店の業務区域（釧路、帯広、根室の3市および釧路・十勝総合振興局、根室振興局の所管区域）を指す。

旅行・観光関連をみると、空港乗降客数、主要温泉地の宿泊人数、市内ホテルの宿泊人数は、持ち直している。

2. 生産

生産は、減少している。

主要生産品目別にみると、乳製品は生乳生産量の増加を背景に、高水準で推移している。水産加工品は主力加工魚種の不漁を主因に減少している。紙・パルプ製品は低水準で推移している。

3. 雇用

労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緩和の動きがみられている。

有効求人倍率は、前年を下回った。

4. 企業倒産

企業倒産は、倒産件数は前年並みとなる中、負債総額は前年を下回った。

5. 金融情勢

預金残高は、法人預金や個人預金の増加から、前年を上回っている。

貸出残高は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う法人資金需要の高まりを背景に、前年を上回っている。

貸出約定平均金利は、低下している。

以 上